



マイナンバーのお知らせ

行政手続きの際、身元確認書類と個人番号・通知カードが必要な場合があります

来年1月から運用が開始される「マイナンバー制度」。秋田市の窓口で手続きをする際、身元確認の他に、個人番号の確認が必要となる場合(例えば1月以降に、国民健康保険への加入や生活保護申請を行う場合など)があります(※)。

必要となる手続きの詳細については、改めて広報あきたでお知らせします。

※申請要件ではありません。

個人番号の確認に必要なもの(次のいずれか)

通知カード、個人番号カード、個人番号が記載された住民票の写し・住民票記載事項証明書

各世帯に郵送された、個人番号の「通知カード」と一緒になった申請書で手続きすると「個人番号カード」が交付されます。個人番号と身元の確認は、これ1枚でできます。「個人番号カード」の交付は来年1月以降。

身元確認に必要なもの(個人番号カード以外の場合)

■いずれか1つの提示でOK 運転免許証、パスポート、在留カード、住民基本台帳カード(顔写真入り)、身体障害者手帳、療育手帳など

■上記の証書がない場合、次のうち2つの提示が必要(①のうち2つ、または①と②から1つずつ)

- ①健康保険被保険者証、介護保険被保険者証、後期高齢者医療被保険者証、年金証書など
- ②学生証、法人が発行した身分証明書など

問い合わせ 番号制度導入推進室 ☎(866)6653

12月は市税完納強調月間です



市・県民税、固定資産税などの休日納付・相談窓口を下記の日程で開設します。納期限が過ぎた市税があるかたは、年内に納付するようお願いいたします。

◆ご利用ください、休日納付・相談窓口

日時▶12月19日(土)・20日(日)・26日(土)・27日(日)・29日(火)・30日(水)、8:30~17:15
会場▶市役所2階の納税課

*固定資産税第3期の納期限は来年1月4日(月)です。納付には口座振替が便利です。

問い合わせ 納税課 ☎(866)2058

もくじ



表紙のはなし♪

除排雪に“力強い”、ロータリやドーザといった重機車両がずらり。さらに“心強い”のは、地域のみなさんの助け合いです。今シーズンも力を合わせて頑張りましょう!

3 市長コラム

4 冬のイベント情報!
～アルヴェ★なかいち★動物園～

6 上下水道の広場

8 市役所からのお知らせ
…年末も交通安全を/灯油タンクの点検/
日本女性会議分科会の企画を募集/
秋田市に誘致企業/高額療養費の申請
平成28年度からの税制改正 ほか

11 秋田市のゆき対策

…1月11日は市民一斉除雪デー/
除雪の各種サービス/
マナーを守りましょう



15 認知症ガイドブック/地域保健推進員表彰

16 優良子ども会表彰/「^ア広報紙」スタート

17 育児コーナー

18 情報チャンネルa

…緑のカーテン写真コンテスト表彰/
ガラスプロジェクト第3弾/施設見学会
勝平得之に年賀状を/まんたらめキャンプ
講座/催し/案内/健康 ほか

24 障がい×日々×創る 第1回あきたアート

■編集発行=秋田市広報広聴課 ☎018(866)2034

■〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

■広報あきたは毎月第1・第3金曜日発行です。

公式ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/>

公式ツイッター <https://twitter.com/akitacity>

秋田市役所Facebookページ

<https://www.facebook.com/city.akita>

日々初心

市長コラム・日々初心
市長 ● 穂積 志(もとむ)



今年の4月、市政番組「わがまち大好き秋田市長です」で、総合環境センターのメガソーラーを紹介しました

自然の“贈り物”を次世代に

鮮やかに色づいていた街路樹もいつの間にか落葉し、いよいよカレンダーも残り1枚になりました。

この1年も、わが国はさまざまに自然災害に見舞われた年でした。秋以降だけでも、多くの爪あとを残しています。9月の茨城県常総市を襲った台風18号の豪雨では、「鬼怒川」という川の怖さを文字通りまざまざと見せつけられました。大型台風23号は、10月としてはかつてない異例のコースをたどり、北海道にもたらした被害の大きさは、私たちの台風に関する認識を大きく変えました。

時折、テレビで見る国内で発生した竜巻の映像などは、これまでは海外から飛びこんでくる光景だったと思います。この100年で世界の海面が17cm高くなったなどの観測もあり、これにはCO₂などの温室効果ガスによる地球温暖化が影響していると言われています。

私たちが地球規模で考え、日常生活の中で実践できることについて

では、ごみの減量や冷暖房の設定温度など、このコラムでも何度となくお伝えしていますが、今回は「あきた次世代エネルギーパーク」について紹介しましょう。

秋田の地は、森林資源や風力、太陽光など、再生可能エネルギーに大変恵まれています。市内にはこれらを活用した発電施設などが多くありますので、施設見学や再生可能エネルギーに関する学習などを企画し、昨年10月に経済産業省資源エネルギー庁の次世代エネルギーパークに認定されました。

木質バイオマス燃料として、近年、森林資源の保護活用や循環型資源の観点から注目が集まる木質ペレットの原材料は、製材時の木くずなどすべて県内産です。石油のように海外からの輸入ではありませんが、経済の県内循環の点でも優等生的なモデルとなります。太陽光を利用したメガソーラーは、すでに市内に何基もありまして、風力発電については、全国



自然の恵みをエネルギーに
(雄物川河口付近の風車群)

に先駆けた取り組みとして、洋上風力発電の計画もあります。また、豊岩・下浜地内の国見山の風力発電は、災害による停電時でも給水に支障がないよう、豊岩浄水場に無償で電力を供給する体制になっており、安全安心にもつながっています。

市内のペレット工場、風力、太陽光などの発電施設を見て回ると、秋田市がいかに豊かな自然エネルギーの宝庫であるかを実感します。一度みなさんにも、このエネルギーパークに足を運んでいただきたいと思えます。

12月は忘年会やクリスマス、そして家族や友人との会食も増える季節です。この機会に、地球温暖化や頻発する異常気象にも思いをはせ、食べ残しを出さないことなども心がけたいものです。

*エネルギーパークの見学については、環境総務課へ。☎(8003)988022

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>